

## 三重県アセアンビジネスサポートデスク現地レポート

平成26年11月26日

三重県アセアンビジネスサポートデスク

株式会社野村総合研究所（NRI）

### 【タイ】新投資誘致政策は開始遅延の見込み

タイ政府の投資委員会（BOI）は2015年初より新しい投資誘致政策を導入すると発表していた。新しい投資誘致政策では、労働集約的もしくは低付加価値な産業から、高付加価値や先端技術、もしくはタイの国際競争力の強みを活かした投資事業へと投資誘致の優先度と恩恵を移行させる。具体的には、①インフラストラクチャーと物流、②基幹産業、③医療・科学用機器、④再生可能エネルギーと環境サービス、⑤ビジネスサポートサービス、⑥高度基盤技術、⑦食品と農産物加工、⑧ホスピタリティとウェルネス（観光や健康産業）、⑨自動車およびその他輸送機器、⑩電子・電化製品の10産業に投資インセンティブの付与を絞るとしている。

しかし、2014年11月下旬時点において、新しい投資誘致政策は政府の最終承認を得られていない。これは、2013年末からのバンコク封鎖デモによる政情不安、2014年5月のクーデターと以降の軍政により、BOIの最高意思決定会議（議長は首相）による承認が遅れているためである。新しい政策の施行には官報での交付など一定の猶予・準備期間を要することを勘案すると、同政策の開始は2015年1月1日ではなく早くても同年第1四半期からになると見込まれる。それまでは、現行の投資誘致政策が有効として残る。

### 【タイ】訪日客数が増加中

日本政府観光局（JNTO）によると、2014年1～10月の訪日タイ人は51.3万人で、前年同期より約48%増加した。タイからの訪日客数はアセアン諸国からのなかで最大となっている。

この増加傾向が続けば、2014年の訪日タイ人は70万人前後になると見込まれる。2013年の日本人のタイ訪問者数が154万人／年、タイの人口が日本の約半分（6600万人）、タイの一人当たりGDPが日本の約1/7であることを考慮すると、いかにタイ人にとって日本が人気の訪問先なのかうかがい知れる。